



令和8年5月14日

各位

会社名 トモニホールディングス株式会社  
 代表者名 取締役社長兼CEO 中村 武  
 (コード番号 8600 東証プライム)  
 問合せ先 常務取締役経営企画部長 藤井 仁三  
 (TEL 087-812-0102)

第6次経営計画期間中における株主還元方針に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、第6次経営計画期間中（計画期間：令和8年度～令和10年度）における株主還元方針について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現行の株主還元方針からの変更内容

当社は、企業価値の継続的向上を図るとともに、株主の皆さまに対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付けたうえで、経営体質の一層の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

こうした基本方針に基づき、令和8年度より新たにスタートした第6次経営計画期間中における株主還元方針を以下のとおりといたします。

<p>現行の株主還元方針          (令和7年2月10日公表)</p>	<p>令和7年度以降の株主還元方針としては、配当性向30%以上（DOE1.6%以上）を目標とするとともに、累進的配当の考えに基づき、利益の状況や自己資本の状況等を踏まえつつ配当水準の安定維持に努め、安定的かつ持続的な株主還元を目指してまいります。</p>
<p>第6次経営計画期間中          (計画期間：令和8年度～令和10年度)における          株主還元方針</p>	<p>第6次経営計画期間中（計画期間：令和8年度～令和10年度）の株主還元方針としては、<u>利益成長を通じた配当水準の安定的かつ持続的な維持・向上を図るとともに、柔軟かつ機動的な自己株式取得を実施することにより、令和10年度までに配当性向35%以上、総還元性向40%以上へ段階的に引き上げていくことを目指してまいります。</u></p>

2. 変更の理由

当社は、本日公表の「第6次経営計画について」にてお知らせのとおり、令和8年度より新たな中期経営計画である「第6次経営計画」をスタートさせました。第6次経営計画は、10年後の目指す姿である「やっぱり“トモニ”を選んでよかったと言われる広域金融グループ」の実現に向けた深化フェーズと位置付けており、当社グループは、継続性と進化性のバランスが取れた課題解決型の「次の3年間の経営戦略・経営目標等」を示す計画として、第6次経営計画期間中において5つの基本戦略に基づく具体的施策に取り組み、ROE6.5%以上、自己資本比率9.5%程度となるよう運営してまいります。

当社は、資本政策に当たって、「成長投資」、「利益還元」、「内部留保」をバランスよく、より大きな形で実現し、更なる企業価値の向上に取り組んでいくこととしており、第6次経営計画の下、今後の持続的なROEの向上と安定的な自己資本比率の維持を図りつつ、株主還元の更なる拡充を目指すため、今回、株主還元方針を見直すことといたしました。

新たな方針では、現状の事業環境や今後の収益状況、自己資本運営等を踏まえ、累進的配当の考えを踏襲した上で、配当性向の目処を従来の30%以上から35%以上に引き上げ、利益成長を通じた配当水準の安定的かつ持続的な維持・向上を図るとともに、従来の配当に加え、柔軟かつ機動的な自己株式取得の実施による総還元性向の目処を40%以上として、第6次経営計画の最終年度となる令和10年度までに配当性向及び総還元性向を目処の水準まで段階的に引き上げていくことといたしました。

当社は、今回の株主還元方針の見直しにより、株主の皆さまに対する利益還元の更なる充実を通じて、当社グループの企業価値のなお一層の向上を図ってまいります。

以上

本資料に記載されている配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の配当額は様々な要因により予想と異なる可能性があります。